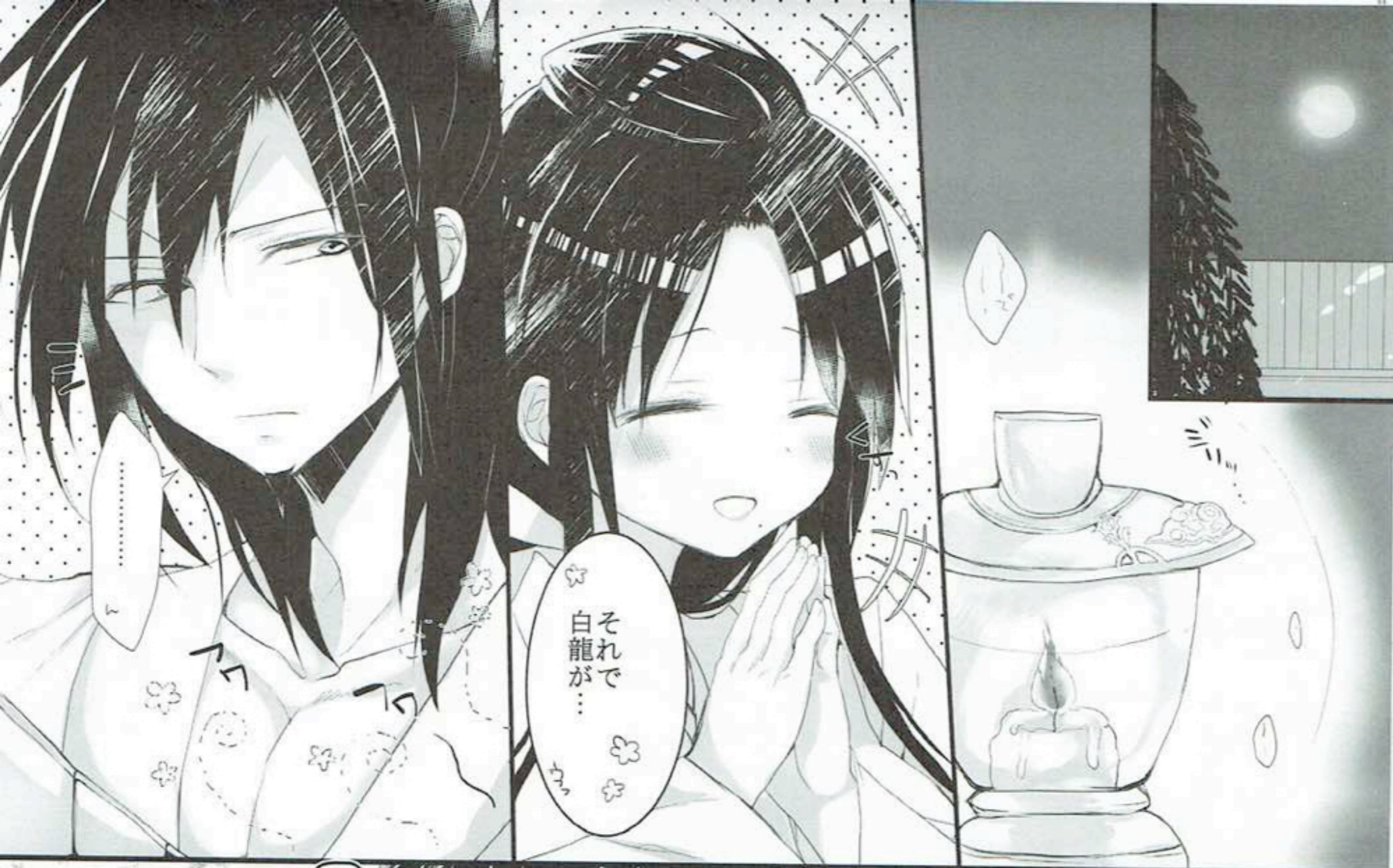


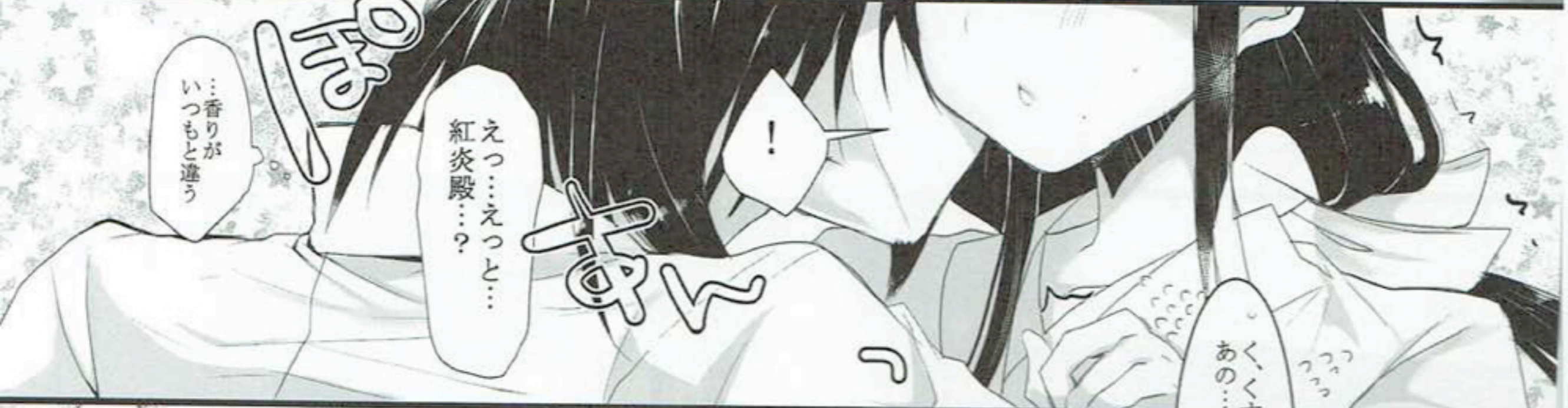
R♥18
for ADULT ONLY

奥様は第1皇女





☆
それで
白龍が…
☆



…香りが
いつもと違う

えっ…えっと…
紅炎殿…?

くくすぐつたいです…
あの…?



毎晩のように
共に居れば
嫌でもわかるだろ

…香を変えたのか
いつもお前から漂う匂いが
今宵はない

お気づきに
なられましたか?

…ふふ
確かに
そうですね

紅炎殿



私

こうして…
妻としてあなたの
お傍に居られること

共に過ごせることが…
とても嬉しいです♡

…そうか…

はい



きやっ

紅炎殿…?
あの…

…そんなに
嬉しいというのなら
しっかり俺の妻としての
務めを
全うしてもらおうか

煽るようなことを
いっている自覚なんて
ないのだから…

あ…

…初夜からもう三月も経つというのにまだ恥ずかしがるか…

…まあこれはこれで…虐めはないが悪くはないが

…ここ…紅炎殿…は…

おねおね

おね…♡

は…♡

おねおね♡

…おまじ…♡

おまじ…♡

おね♡

…嫌ならやめてやってもいいがそうではないんだろう？

…もっと自分に素直になればいい

お前は俺に触れられるのが嫌なのか？

おね…♡

…っ…それは…っ…♡

…単に嫌なだけならそんな風に興奮して下着を湿らせたりしないものな

…っ…！

おね♡



触れられるのが嫌だなんて
そんなのありえないって…
紅炎殿が一番わかかってらっしゃる
でしょうに…

…白瑛

…



でも…それが…
そういうことができるのが…
紅炎殿の求める
妻の理想像なら…っ

…そうか
ならお前の望み通りに
してやろう



紅炎殿…っ♡

お願いします…♡

紅炎殿の
太い指が…♡
私の…っ♡

私の身体に…♡
いっぱいイチャイチャして…♡

気持ちよ〜♡
くたない…♡

お前は…♡
こねまわされるのが
好きなんだよな

やらしい動き
して…♡



♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

胸を二握る...♡
服を脱ぎ...♡
挿入...♡

おっぱい...♡
挿入...♡

服を脱ぎ...♡
挿入...♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

紅炎殿...♡
♡♡♡♡♡

...もういいか
直接触るぞ

おっぱい...♡



♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

...こう素直に
反応されると...

...堪らん
思っただけで

...うんか

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

おっぱい...♡

おっぱい...♡
おっぱい...♡

すし...
大きくほって...♡

私ももつと
頑張らないとっ...♡

そうでないと...っ
第一皇子の妻としての
面子というものが...っ!

私が
した...♡

...好きにして構わないが
別にそんなことしなくても
いいんだぞ

ありがと...♡

んんっ...♡

...気持ちいいかどうかと
言われると正直微妙だな

...♡
きもひいれぶか...♡

...♡

...それよりも



接吻をする方が
俺は好きだ

…それよりも



このままじゃ
いけない…



駄目…っ♡また紅炎殿に
してもらうばかりで…っ



…っ
紅炎殿っ



エキスタス…っ♡

このままじゃ…っ
また…っ私だけ…
気持ちよくなっ
てしまう…っ♡

はま…っ♡

おい、白……

恥かしいけれど……
ちやんと義務を
果たさなければ……

おまおま

この世界で……
紅炎殿の義務を果たさなければ……

接吻しなさい……♡
エッ、干渉しないで……♡

だから……♡

今日は私が紅炎殿の上に乗っても……
いいですよ……♡♡

紅炎殿のため……

私にできること……
お任せして……♡

紅炎殿……♡

おまおま……♡
子宮口に堅いのが
ぴたっして……♡

おまおま……♡

くっ……
白瑛……

おまおま……♡

アハハハ…♡♡♡

白瑛

大丈夫だ

そんなま…っ♡
下から突いちゃだめです…♡♡

わたしがつ…♡
ちゃんと自分ネリ…♡

…いきなり何を言い出したかと思えば
…誰か、何処かの愚図にでも
余計なことを吹き込まれたか

ただっ…本当に…
私が…♡

力不足…
だから…っ

…なんだ？
何を恥ずかしがる

お前の膺は
一度ちんぽを啜えると、締め付けて
離してくれなくなるからな？

…お前が気に病むようなことは
何もない
今だってちやんと俺は
気持ちがいいぞ

そんなっ…♡
わたし…っ！

ズズズ
ズズズ
ズズズ

お前は身体で俺を喜ばせたかったのだから？

それができているのだから素直に喜べばいい

それともお前自身が快感を味わえないから不服なのか？

お前の濡れた臍を突いているだけで俺は堪らなくなるが…

私も…♡
紅炎殿のおすくで突かれるの気持ちいい♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

私のおまんこに…♡
紅炎殿の子種…♡
全部注いでほしいです…♡

そんなに俺の子種が欲しいのか？

突くたびに子宮口ヒクつかせてっ
いやらしい皇女だな…♡

あ……♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

おねがいします…♡



あぁ...っ
ちゃんど、っ
種付けしてやるから...

あなたがいって下やったの...っ
何もいらぬい...っ!

こころを
わたひっ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ



中で全部
受け止める...っ!

白瑛
射精すぞ...っ

あ...っ
...っ
...っ



あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ

あ...っ
...っ
...っ



つきやあ!

ふあ...え...?
こーえん、どの...?

先ほど

...俺の子種が欲しいと
いっただろう

...お前の望み通り

枯れ果てるまで
全部くれてやる

え...?

んっ!



ダメ...
いったばかりで教壇に
なってるのにな...

白瑛...

もっとう... はあ...

お前の乱れる姿が見たい...

お前の乱れる姿が見たい...
何き者なのオオオ...

頭もおまら...
おかひく
ほっひやう...



ふまふっ♡
わらひまたっ…
イっちやうっ♡

♡♡♡

おっぱい♡

おっぱい♡

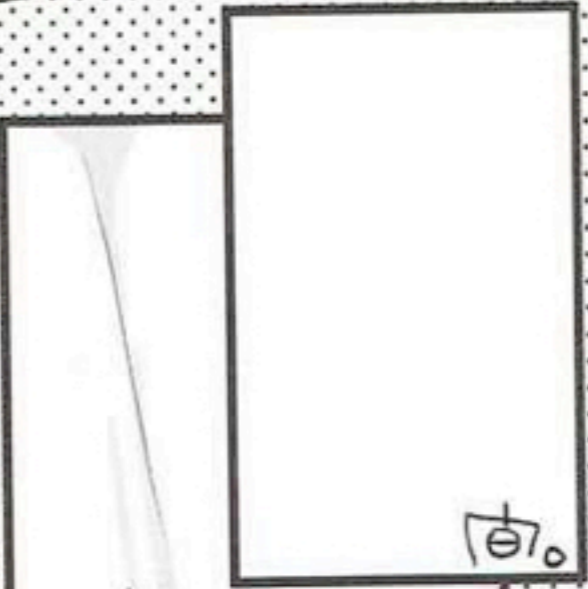
おっぱい…♡
おっぱい…♡
おっぱい…♡

おっぱい♡
おっぱい♡

せーえき…♡受け止めきれなくて
溢れちゃってますや…♡

おっぱい♡
おっぱい♡

紅炎殿…私…♡
今宵はちゃんと…♡
あなたの妻としてのお役目…
果たせてましたか…？

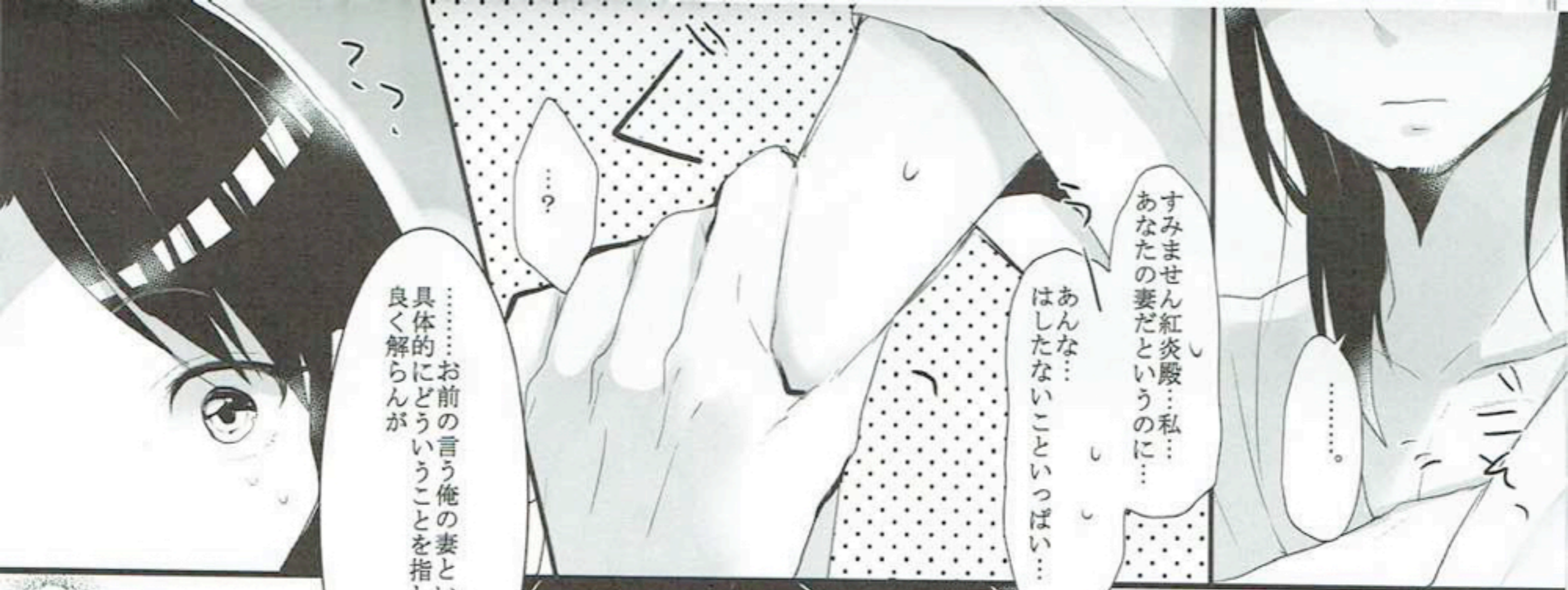


沢山触れ合えたり…
気持ちを確認しあえたのは
良かった…けれども…

ま、またなんだか…っ
流されるままに
恥かしいことを
してしまいました…！

…白瑛

もぞっ…



すみません紅炎殿…私…
あなたの妻だというのに…

あんな…
はしたないこといっぱい…

……お前の言う俺の妻というものが
具体的にどういうことを指しているのか
良く解らんが



あ……



……えっと……
紅炎殿……これは

……先日造らせたんだ
お前のために

古代の異国についての文献を読んでいたら
……そこでは夫が妻に
婚礼の際に指輪を贈る風習が
あったと記されていてだな……

……よくよく考えてみれば
俺はお前に夫らしいことを
何一つしていませんと思っ
てな

だからその……なんだ

それはくれてやるから
……受け取れ

えっ！

良いのですか？
こんな高価そうなもの……

……くれてやるといった
のだから構わんよ

それに、お前以外に
渡したい者もない

……紅炎殿……

……お前がいろいろと
気にする気持ちも
わからんでもない

だが白瑛

……あ……

二人でいるときくらいは……
普段の肩書など気にせず……
夫婦でいればいと俺は思うんだが

俺は一人の人間として
お前を好んでいるし、
……お前もそうだろう？

ならその気持ちだけで
後は気にせんでいいだろう

……はい……

そう、ですね……
私もそれが……いいです

ん

えっ?! いえっ!
そんなの駄目です!

何があっても
絶対手放しません……!

はい……

あとそいつは
気に喰わなかったら別に
売るなり捨てるなりして
構わんからな

……そうか

……ありがとうございます

紅炎殿……



練紅炎 ♥ 練白瑛

The labyrinth of magic M-161
FanBook

2015 ♥ 01 ♥ 25
SARDONYX
presents ♥

Okusamahadaiichikoujyo... ♥

FOR ADULT ONLY ♥